

平成 26 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 亀望会

はじめに

国が『地域包括ケアシステム』の構築をすすめるなか、当法人は社会医療法人きつこう会と合同で『質の高い医療、介護、福祉サービスが切れ目なく提供できる地域づくり』をめざし、積極的に取り組み始めました。

今年度は3年後のビジョン『利用者、家族、地域社会や職員から満足されるよう法人として価値を高め、地域包括ケアの推進に寄与する。』をかかげ、その初年度として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。

中央区北部地域包括支援センター事業を受託して3年目を迎え、地域での重要な役割を担っていることによる実績は、平成27年度の受託につながり、今後の『地域包括ケア』の実現に向け大きな力となることと確信しています。

地域の方々に身近な施設として、利用していただきやすいよう「こすもすカフェ」を継続することで「地域の立ち寄りどころ」としての役割を果たしています。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの一環として「オレンジカフェつどい」を計2回開催し、継続開催の道筋を作りました。認知症の啓発活動についても法人全体で積極的に取り組みました。

今年度は1年を通して人手不足に悩まされ、そのことが減収の大きな要因となりましたが、キャリアアップ制度の構築、人財育成のカリキュラム充実など積極的に取り組んだことが、結果として平成27年度の新卒者職員の採用につながりました。

業務改善の「アクションプラン」については、内容も一段とレベルアップし、サービスの質の向上に反映させるとともに、発表会の場を大阪国際会議場にしたことが職員のモチベーションをより一層あげることもつながりました。

また、働きやすい職場環境づくりの一環として、仕事を離れての同好会活動、余暇活動もより充実させ、職員の帰属意識を高めるとともに、チームワーク向上にもつながりました。

1. 特別養護老人ホーム事業

平成26年度は「個別ケアの充実」と「科学的根拠に基づいた介護の実践」を目標として、自分らしく生活を送っていただけるよう配慮し、満足度の高いサービスが提供できる取り組みをおこないました。また、施設にて最期を迎えていただく看取りケアについても、13名の入所者を看取らせていただきました。

※平成26年度 退所者21名（内死亡：看取り13名・病院5名、長期入院3名）

(1) 生活支援

①生活相談

入所者及びご家族からの相談や苦情に対し、迅速に対応かつ解決し、安心して生活をしていただけるよう努めました。

②施設サービス計画

入所者の持っている力を最大限に発揮してもらうために細やかなアセスメントを実施し、施設における生活が、その人らしく暮らせる場として提供できるように努めました。

施設サービス計画書をよりわかりやすい言葉で具体的に示し、ケアの方向性を入所者、ご家族、職員に伝えることで、入所者らしい生活を送っていただけるように努めました。

③地域貢献の視点

地域貢献として取り組んできた「こすもすカフェ」も、季節に合わせた様々なメニューを取り入れることで、常連のお客様も増え、知名度も上がってきました。また、昨年度と同様に地域住民の方向けに「認知症サポーター養成講座」を開催し、積極的に「認知症サポーター」を増やす取り組みを行いました。

地域交流の取り組みとして地域のボランティア活動の拠点としての機能を果たすとと

もに、多方面から実習生を受け入れ、また、受け入れに関するマニュアル作成等にも力を入れて取り組みました。

地域の幼稚園や保育所と交流会を行い、園児と入所者との触れ合いの場を設けました。また、幼稚園や保育所に出向き福祉講座を開き、福祉をより理解していただけるように啓発活動を行いました。

入所者と地域定例のお花見や盆踊りなどの行事に参加するだけでなく、定例の町会会議にも出席し、歳末警備など積極的に参加することで地域の一員として関わりを持つよう努めました。

④顧客の視点

認知症や入浴、排泄、食事に関する「ケアのあり方委員会」を開催し、科学的根拠に基づくケア方針の検討と実施をおこない、入所者にあった個別ケアの取り組みに努めました。

⑤財務の視点

排せつ方法や排せつ物品の見直しを定期的におこない、個人にあった排せつケアの見直しを図りました。

⑥業務プロセスの視点

パソコンソフトのシステムを有効活用することで、他職種間との情報共有や業務の効率化を図ることができました。

⑦人財育成の視点

介護職員、看護職員、管理栄養士、相談員のすべての専門職が連携し、総合的なケアの向上に努めるとともに施設内研修、外部研修に参加させ、モチベーションアップへ繋げ、全体のレベルアップに努めました。

(2) 健康管理

ケアの基本である「生活を整える」ためには、疾患の基礎的理解が必要であることから、看護職員より介護職員へ医療的な知識を積極的に指導伝達するなど、連携強化に努めました。

看取りケアにおいては、施設で穏やかな最期を迎えていただけるよう、すべての職種が連携し支援しました。

平成24年度から一定条件の下での介護職員による口腔内痰吸引等がおこなえることとなり、入所者へより安全なケアの提供と介護職員のスキルアップに繋がる指導を継続・実施しました。

(3) 栄養管理

前年に引き続き、夏場の「冷やし素麺」、冬場の「鍋料理」と、今年も少人数でゆったりと落ち着いた雰囲気で食事を楽しんでいただきました。普段、口数の少ない方が若かりし頃の話がされたりし、新たな一面を発見することができました。

また、ノンアルコールの酒類を使用しての居酒屋を定期開催することで、新たな楽しみを提供することができ、このような情報を栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かすことができました。

「ソフト食」の導入についても、試作を重ね、提供できる頻度を少しずつ増やしていきました。

(4) その他の取り組み

安全対策の取り組みとして各専門職が協働し、事故予防策の見直しに対して積極的に取り組み、事故予防に対する職員の意識向上を図ることができました。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス事業においては、より質の高いサービスを提供できるよう各部署の連携強化、研修機会の増加に取り組みました。その結果、利用者やご家族に安心して利用して頂けるサービスを提供することができ、地域の方々の『在宅支援、自立支援』に貢献することが出来ました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

施設で過ごされた様子をご家族に知っていただくために、送迎時や自宅への連絡にて報告するなど連携を密に取ることで信頼関係を構築することができました。

緊急入所の依頼に対しても積極的に受け入れ、少しでも多くの方にご利用していただけるよう努めました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

西区唯一の通所介護365日営業も10年目を迎え、利用者・介護支援専門員を含め地域に認知されています。地域では様々な種類のデイサービスが開設されるなか、当苑では設備はもちろん、専門知識や技術に経験を重ねた職員の配置により、介護度が中度から重度になっても申込みをお断りすることなく柔軟な受け入れ対応をすることができています。

たとえ介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で暮らしていくために、生活の継続に繋がる機能訓練メニューを職員一丸となって考え、提供しています。

次年度も同様に、利用者が持つ機能を可能な限り活かすことができる環境づくりと、介護の専門性を生かすことで、利用者が生きがいを持ち続け、介護するご家族の負担を減らすことができる支援の強化に努めていきます。

(3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

平成26年1月6日より開設、営業を開始しました。日常生活の延長線上とした役割のある過ごし方を中心にデイサービスを展開してきました。継続的な利用により認知機能の維持、生活機能向上に繋がっており、利用者にとって生きがいのある生活の実現とご家族の介護負担軽減の役割を担う事が出来ました。買い物や公園など地域に出て行くプログラムを組み込むことで、地域住民との交流や認知症を理解する機会も増えつつあります。また、認知症カフェ（オレンジカフェつどい）を開催し、専門職と地域住民が接点を持つことができる居場所を提供しました。

次年度は、認知度の向上に重点を置き、居宅介護支援事業所や関係機関への訪問活動と地域活動への参加を積極的に行っていきます。同じく認知症カフェの定期的な開催により、地域包括ケアの一端としての機能も果たしていきます。

(4) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

西区地域包括支援センター総合相談窓口業務の委託を受け9年が経過しました。

専属の相談員を配置することで幅広く地域活動ができました。その結果、相談件数が昨年度の約1.3倍となり、より地域に根ざした事業所となることができました。

居宅介護支援事業としては4名の介護支援専門員により、高齢者人口の少ない西区において月平均119件の要支援・要介護ケースに対応しました。引き続き特定事業所加算Ⅱの算定に見合った事業所の運営、介護支援専門員の質の向上に向けて努力してまいります。

各種関係者との連携および地域活動として、小中学校での福祉教育への参加、認知症サポーター養成講座の定期開催などを行いました。また、大阪市委託事業である家族介護者教室を西区地域包括支援センターと共催することにより、多くの地域住民の方々の交流の機会を設けることができました。次年度もこのような機会をより多く設け、継続して取り組んでいきます。

(5) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

サービス内容については、「共に行う支援」を中心に、今以上に介護が必要にならないようなサービス計画と実施のために、「できる」のに「していない」活動に注目し支援することで、利用者の持つ力や機能を再発見することができました。また、窓口担当であるサービス提供責任者が、介護支援専門員と密に連携を持つために、事業者連絡会にて中心的な役割に就くなど、内外ともに活動の幅を広げることができました。

次年度も引き続きより多くの利用者に満足していただけるように取り組んでいきます。

(6) 地域包括支援センター（中央区北部）

開設3年目となる今年度の総合相談件数は3,963件・相談実人数は774名となりました。開設月の相談件数は100件程度でしたが、地域に少しずつ知られることで月平均相談件数は約300件となりました。

介護支援専門員からの相談件数も832件となり、地域の介護支援専門員への後方支援の機会に比例し、信頼関係も深まっています。

高齢者虐待や処遇困難ケースに対しては地域ケア会議を24回・サービス利用調整会議を11回行い、行政や地域の関連機関との連携により問題解決を図りました。

また、中央区認知症支援ネットワーク（COCONETTちゅおう）や中央区地域ケア研究集会、各介護保険事業所の連絡会及び家族会などの事務局として地域のネットワーク作りに貢献しました。

介護予防への取り組みとして介護予防事業への利用を積極的に勧め、93件の二次予防事業対象者介護予防ケアプランを作成しました。また、指定介護予防支援事業者として月平均330件（一部委託含む）の指定介護予防ケアプランに携わりました。

事業評価については、大阪市の評価基準を全て満たし、応用評価についても満たすことができました。次年度においても評価基準を満たす運営を行い、地域に信頼される地域包括支援センターを目指します。

3. 診療所事業

昨年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めました。昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、また、感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

ケアハウスでは、入所を継続する中で日常生活に何らかの支援が必要な方もおられ、できるだけ住み慣れた施設で暮らし続けたいという入所者の思いを達成するため、「出来る限り長く住み慣れた施設で暮らし、自分らしい生活ができる」という方針を掲げ、色々な機会を通じて、どのような状態まで生活が可能か、どんな支援まで出来るのか検討を行いました。

また、その方針を達成するため、特に亀望会の居宅介護支援事業所との情報の共有化を図り、介護保険サービス事業者との連携により安心して暮らせる支援にも取り組みました。

(1) 地域貢献の視点

地域貢献、地域交流の取り組みとして、創立記念祭や敬老祝賀会に地域老人クラブの会員様を招待したり、ストレッチ体操への地域の方の参加受け入れをしたり、地域に暮らす高齢者との交流を深めました。

地域社会とのつながりを保つため、地域活動への参加を計画していましたが、あまり進められず、次年度の課題となりました。

災害時拠点施設となることを想定して、情報収集に力を入れました。具体的な準備はあまり進まなかったので、次年度の課題となりました。

(2) 顧客の視点

入所者・ご家族との日々の会話を増やし情報交換を意識して行うことと、施設懇談会の開催により、入所者の状態把握とニーズ把握に努め、行事計画の中で生活に満足感が得られるように工夫を行いました。

終活に関する知識習得に努め、入所者への情報提供や意識的に話をすることで、相談機能が一部強化出来ました。次年度は介護予防・医療面の相談機能強化のために取り組んでいきます。

重度化への対応は、要援助者が出るたびに支援策を検討し、対応できる状態の目安を考えました。今回、出来た目安を参考に対象者が出た際に検討を続けていきます。

(3) 財務の視点

入所者の状態把握に努める事で、退去者が発生しそうな時に待機者へ余裕をもって入所の案内が出来るよう取り組み、空室の月は少なく経過出来ました。

長期修繕計画の検討を行いました。今後修繕すべき箇所が沢山あるので、計画に従って修繕を進めていきます。

(4) 業務プロセスの視点

新たな記録用紙や伝達ノートの活用を行うことで、今まで伝達されなかった些細な情報の共有に繋がりました。

業務分担の見直しは行えましたが、マニュアル整備への取り組みは不十分で、次年度の課題となりました。

(5) 人材育成の視点

職員各個人の業務に必要な知識向上のための研修受講を進めました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況（H26.4.1～H27.3.31）

ア. 平均年齢 全体 男女別（H27.3.31現在）

男性	21名・83.3歳	女性	83名・88.2歳	平均年齢	104名・87.2歳
----	-----------	----	-----------	------	------------

イ. 日常生活動作調査（対象者104名）（H27.3.31現在）

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	9	24	71	27	33	44	3	20	81	0	7	97	0	16	88

区分	整容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	6	13	85	18	26	60	16	12	76	4	26	74	99

ウ. 年間延べ入所者数合計等（人）

年間延べ入所者数合計		36,969
介護度別	要介護度1	365
	要介護度2	2,867
	要介護度3	5,194
	要介護度4	13,197
	要介護度5	15,346
年間延べ入院及び外泊者数		611
年間延べ空床数（床）		380
年間退所者数		21

②主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
平成26年 4月5日	広教連合とのお花見(島津公園)	地域のお花見に参加し、さくら鑑賞とともに地域の方々と交流しました。(3名)
4月10日	造幣局	造幣局に咲いている何種類もの桜を鑑賞し、春の訪れを感じていただきました。(6名)
5月5・7・8・ 9・15日 6月5・9日	うつぼ公園 バラ園	うつぼ公園でのバラ園散策日とバラ園内でお弁当を召し上がっていただく日を設け、季節を感じていただきました。(23名)
5月14日	波除学園分園びよこじまとの交流会	子ども達に歌やお遊戯を披露していただき、入所者の笑顔あふれる交流会となりました。
5月23日	鞆幼稚園との交流会	園児による合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました
6月25日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼き、焼きそばなどを入所者の前で焼き、屋台の雰囲気を感じていただきました。
7月16日	子どもみこし	施設の前で子どもみこしを披露していただき、太鼓の音色を楽しまれました。
7月26・30日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を楽しんでいただきました。
8月19・22・ 26日	地域の盆踊り	地域における盆踊りに参加し、地域との交流を楽しんでいただきました。(6名)
8月23日	夏祭り	模擬店や盆踊りなどボランティアの協力も得て、盛大に夏祭りをおこないました。入所者及びご家族、関係者の皆様にも楽しんでいただきました。
9月5・9日	花火	夏の終わりに花火を楽しんでいただきました。
9月18日	敬老祝賀会 (八昇会)	八昇会による唄や太鼓を披露していただき、手拍子や拍手をされ楽しまれました。
10月3日 ～15日	西区高齢者施設 合同展示会	出展に向け、入所者で力を合わせて創作活動をおこないました。多くの方々に観ていただき、称賛されたことに喜びを感じておられました。
10月17日	鞆幼稚園との交流会	園児による合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました。
10月31日	西保育所との交流会	手遊び歌と一緒に手を動かし、子ども達との交流を楽しまれました。
11月13・14・ 29日	秋の味覚まつり	焼き芋を施設内で焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。

12月15・17・18日	クリスマス会	職員が入所者一人ひとりに合ったプレゼントを配り、夕食時にはステーキを食べていただくなど楽しいひと時を過ごしていただきました。
12月26日	もちつき	つきたてのお餅にあんこや大根おろし、きなこなどお好きな味で召し上がっていただきました。
平成27年1月1日	新年祝賀会	施設長の挨拶で始まり、おせち料理やお屠蘇を提供し、新年のお祝いをしました。
2月3日	節分	昔からの風習である豆まきを豆に見立てたボールを鬼に投げ、楽しく今年一年の厄払いを行いました。
3月23日	韮幼稚園	園児による合唱や入所者への肩たたきなどサービス満点の楽しい交流会となりました。
3月24日	波除学園分園びよこじまとの交流会	子ども達に歌やお遊戯を披露していただき、入所者の笑顔あふれる交流会となりました。

イ. 面会・外出・外泊状況集計表 (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
6名	6名	15名	16名	15名	13名	33名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
2名	1名	2名	4名	3名	6名	86名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	0名	0名	2名	102名

ウ. 自衛消防訓練等実施状況

年 月 日	内 容	備 考
平成26年4月16日	自衛消防訓練(4F介護職員室前) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成26年6月18日	自衛消防訓練(2F厨房) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
平成26年9月17日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災活動隊編成訓練
平成26年10月15日	自衛消防訓練(4F談話室) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練

2. 居宅サービス事業

①短期入所生活介護（ショートステイ）

年間延べ入所者数等（H26. 4. 1～H27. 3. 31）

開設日数（日）	365	
実利用人数（人）	756	
年間延べ入所者数合計（人）	5,034	
介護度別内訳	要支援1（人）	0
	要支援2（人）	91
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	123
	要介護度2（人）	920
	要介護度3（人）	1,432
	要介護度4（人）	1,698
要介護度5（人）	770	
1日平均入所者数（人）	13.76	
送迎（回）	2,013	
平均介護度	3.18	

②通所介護（高齢者デイサービス）

ア. 年間延べ利用者数 等（H26. 4. 1～H27. 3. 31）

開設日数（日）	364	
実利用者数（人）	1,027	
年間延べ利用者数合計（人）	7,739	
介護度別内訳	要支援1（人）	305
	要支援2（人）	993
	非該当・その他（人）	0
	要介護度1（人）	924
	要介護度2（人）	2,797
	要介護度3（人）	1,236
	要介護度4（人）	1,010
	要介護度5（人）	474
1日平均利用者数（人）	21.2	
送迎（回）	7,573	
入浴（回）	7,650	
給食（食）	7,496	
平均介護度	2.58	

※台風のため1日間休業

イ. 実利用者数月毎推移表（H26. 4. 1～H27. 3. 31）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	88	79	86	87	88	88	87	82	85	86	84	87

ウ. 利用者の状況 (H27. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家 族)と同居	その他	合 計
合 計	36	10	41	0	87

エ. 主な行事

- ・お花見 (土佐稲荷神社) : 4月1日 (火) ~ 4月7日 (月)
- ・七夕週間 : 7月1日 (火) ~ 7月7日 (月)
- ・夏祭り週間 : 8月5日 (月) ~ 8月11日 (日)
- ・敬老週間 : 9月15日 (月) ~ 9月21日 (日)
- ・体力測定会 : 10月6日 (月) ~ 10月12日 (日)
- ・年末ビンゴ大会 : 12月22日 (月) ~ 12月28日 (日)
- ・初詣 (茨住吉神社) : 1月5日 (月) ~ 1月11日 (日)
- ・節分 : 1月28日 (水) ~ 2月3日 (火)

オ. 誕生日会

- ・毎月開催 (利用者の写真入りプレートをプレゼントする。)

カ. クラブ活動

- ・脳トレ、書道・ペン習字、運動、モノ作り、手芸の各クラブ活動を実施

③認知症対応型通所介護 (コスモスのかぜ九条南)

ア. 年間延べ利用者数 等 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

開設日数 (日)		259
実利用者数 (人)		78
年間延べ利用者数合計 (人)		733
介 護 度 別 内 訳	要支援1 (人)	0
	要支援2 (人)	0
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	236
	要介護度2 (人)	132
	要介護度3 (人)	347
	要介護度4 (人)	18
要介護度5 (人)		0
1日平均利用者数 (人)		2.84
送 迎 (回)		682
入 浴 (回)		196
給 食 (食)		731
平均介護度		2.25

イ. 実利用者数月毎推移表 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	8	6	7	7	8	8	6	5	6	6	6	5

ウ. 利用者の状況 (H27. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家 族)と同居	その他	合 計
合 計	3	1	1	0	5

④在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	68	58	59	44	47	51	49	45	59	45	67	59	651	54.2

イ. 相談内容 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題			1				1	1	1		1		5	0.4
経済・生活問題	3	9	6	2	4	4	11	6	3	5	11	19	83	6.9
介護サービス	32	30	33	18	23	33	10	32	45	29	41	23	349	29.0
介護予防サービス	15	13	14	19	14	7	4	6	1	10	14	16	133	11.0
介護予防事業														0.0
福祉サービス														0.0
保健医療サービス														0.0
虐待	17	6	5	4	6	7	18		9	1			73	6.0
成年後見制度	1			1			5					1	8	0.6
生きがいづくり														
その他														
合計	68	58	59	44	47	51	49	45	59	45	67	59	651	54.2

(2)居宅介護支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)	1, 4 2 8	
介護度別内訳	要支援1 (人)	1 3 3
	要支援2 (人)	2 4 5
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	1 7 1
	要介護度2 (人)	4 9 5
	要介護度3 (人)	2 1 2
	要介護度4 (人)	1 2 9
要介護度5 (人)	4 3	

⑤訪問介護 (ホームヘルプサービス)

ア. 年間延べ利用者数 等 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

開設日数 (日)	2 5 6	
実利用人数 (人)	4 3 2	
生活援助 (時間)	2, 2 2 5. 8	
身体介護 (時間)	2 8 9. 6	
派遣時間合計 (時間)	2, 5 1 5. 6	
年間延べ利用者数合計 (人)	2, 4 8 8	
介護度別内訳	要支援1 (人)	1 2 6
	要支援2 (人)	1 1 2
	非該当・その他 (人)	0
	要介護度1 (人)	1 7 0
	要介護度2 (人)	1, 6 9 2
	要介護度3 (人)	3 6 9
	要介護度4 (人)	1 9
要介護度5 (人)	0	

イ. 平均年齢 全体 男女別 (H27. 3. 31現在)

男性	7名・82歳	女性	28名・85歳	男女平均年齢	35名・83.5歳
----	--------	----	---------	--------	-----------

ウ. 利用者の状況 (H27. 3. 31現在)

	一人暮らし世帯	夫婦のみ世帯	子ども家族と同居	未婚の子ども	その他	合計
合計	30	3	2	0	0	35

⑥地域包括支援センター (中央区北部)

(1) 地域包括介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	325	330	349	362	368	300	363	210	236	296	311	243	3963	330.3

イ. 相談内容 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	7	12	10	5	19	10	16	2	12	7	1	1	102	8.5
経済・生活問題	68	37	28	62	30	23	39	24	25	14	19	8	377	31.4
介護サービス	62	72	125	113	137	81	100	85	80	94	115	79	1143	95.3
介護予防サービス	49	84	71	44	56	58	56	41	54	71	77	72	733	61.1
介護予防事業	43	74	54	93	89	90	101	30	50	67	50	62	803	66.9
福祉サービス	28	11	9	5	12	7	14	6	4	17	21	4	138	11.5
保健医療サービス	33	16	19	16	11	10	10	7	7	7	8	2	146	12.2
虐待	8	14	4	9	3	3	3	4	2	2	1	0	53	4.4
成年後見制度	24	10	28	13	9	18	24	11	2	12	19	12	182	15.2
生きがいづくり	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	6	0.5
その他	1	0	0	2	1	0	0	0	0	3	0	3	10	0.1
合計	325	330	349	362	368	300	363	210	236	296	311	243	3963	330.3

(2) 介護予防支援事業

ア. 年間延べ利用者数 等 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

年間延べ利用者数合計 (人)	3, 9 5 0	
介護度別内訳	要支援1 (人)	5 2 5
	要支援1 (委託) (人)	1, 4 9 4
	要支援1 計 (人)	2, 0 1 9
	要支援2 (人)	4 5 7
	要支援2 (委託) (人)	1, 4 7 4
	要支援2 計 (人)	1, 9 3 1

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	入所者	職員	合計
年間合計	1, 244	25	1, 269
月平均	103.7	2.1	105.8

イ. 健康診断実施状況 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	220名	162名	25名	407名
月平均	18.3	13.5	2.1	33.9

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況 (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

入所者	102名	職員	127名	ケアハウス	34名	職員家族	0名	合計	263名
-----	------	----	------	-------	-----	------	----	----	------

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 入所者の状況 (H27. 3. 31現在)

平均年齢

全体 83.6歳	男性 (9名) 82.4歳	女性 (30名) 84.0歳
----------	---------------	----------------

イ. 日常生活動作調査 (対象者 39名)

区分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立歩行	補助具使用	自立	一部介助	全部介助	普通	やや不自由	不自由	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	28	11	39	0	0	38	1	0	32	5	1

* 補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖を使用している者

ウ. 面会・来客・外泊状況集計表 (H26. 4. 1～H27. 3. 31)

年間面会・来客回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
9名	2名	6名	10名	12名

年間外泊回数

11回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
1名	2名	6名	14名	16名

エ. 主な行事

- 4月 創立記念祭 行楽弁当 鶴橋風月
- 5月 端午の節句と菖蒲湯 おでんバイキング 消費者保護講座
- 6月 アクティブ行事 バイキングランチ 自衛消防訓練
- 7月 七夕祭事食
- 8月 納涼祭
- 9月 敬老祝賀会 お月見祭事食 結核健診
- 10月 健康診断 自衛消防訓練 行楽弁当 スポーツ大会 おでんバイキング
- 11月 寿司ランチ 作品展
- 12月 人権講座 バイキングランチ イルミネーション見学 ゆず湯
餅つき 年越しそば
- 1月 新年互礼会 七草粥 小正月 鏡開き 地震防災訓練
- 2月 節分祭事食とレクリエーション 寿司ランチ
- 3月 ひな祭り祭事食とレクリエーション 特別ランチ スポーツ大会

オ. その他

- 誕生日会：月1回 和みカフェ：年6回 ミニ喫茶：年3回 映画会：月2回
- 移動図書館：月1回 健康相談会：月1回 健康体操：月1回
- 施設懇談会：年2回 セレクトメニュー昼食：月1回 焼きたてパン：月2回
- 活動クラブ 手芸、カラオケ、オセロ、園芸

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
平成26年 4月16日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計58名
4月16日	ターミナルケアに関する研修	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下計58名
5月14日	事故発生等緊急時の対応に関する研修	事故の発生等緊急時の対応について医師等より具体的な方法を学ぶ	施設長以下計57名
6月18日	事故発生防止のための研修	事故を削減するための対応等を学ぶ	施設長以下計52名
6月18日	食中毒の予防及びまん延防止のための研修	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ・事故防止の方法を学ぶ	施設長以下計52名
7月16日	介護技術研修	スライディングボード等の活用について学ぶ	施設長以下計54名
7月16日	マナー研修	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計60名
8月27日	口腔ケアについて	口腔ケアの知識を学ぶ	施設長以下計59名
9月17日	胃ろう吸引研修	胃ろう吸引について学ぶ	施設長以下計30名
9月17日	グループワーク (認知症ケア)	認知症ケアについて学ぶ	施設長以下計51名
10月15日	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症及び認知症ケアについて学ぶ	施設長以下計56名
11月19日	感染症予防及びまん延防止のための研修	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計62名
12月8日 ～21日	人権研修	人権について学ぶ	施設長以下計80名
平成27年 2月18日	グループワーク (事故発生防止)	事故発生防止についての基礎知識を学ぶ	施設長以下計49名
3月18日	身体拘束等の排除のための取り組みに関する研修	身体拘束等の排除のための取り組みについて学ぶ	施設長以下計50名
3月18日	非常災害時の対応に関する研修	非常災害時の対応と備蓄食品等について学ぶ	施設長以下計50名

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

新卒4月採用者に3月24日から4月2日の間8日間実施。計2名受講。

6月採用者に6月2日、3日の2日間実施。計4名受講。

9月採用者を中心に9月25日、26日の2日間実施。計1名受講。

12月採用者を中心に12月11日、12日の2日間実施。計2名受講。

②中堅職員研修

階層別に中堅職員研修を行った。

1) 中堅職員研修Ⅰ（入職2年目の常勤職員）1クール1日 計7名受講。

2) 中堅職員研修Ⅱ（入職3年以上の常勤職員）

1クール3日間（うち、他部署1日研修1日含む）計5名受講。

3) 中堅職員研修Ⅲ (入職5年以上の常勤職員) 1クール1日 計7名受講。

③相談員研修

相談業務従事者18名に対し、年10回実施。延参加者人数計109名受講。

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市福祉局など計166回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

内 容	人 数
ホーム喫茶 (毎水曜日)	2名
夏祭り (住友生命)	44名
敬老会 (八昇会)	5名
もちつき (大阪トヨペット株式会社・すみれ会)	11名

②通所介護 (江之子島コスモス苑デイサービスセンター)

内 容	人 数
夏祭り (盆踊り7日間)	のべ21名
施設夏祭り (付き添い)	9名
初詣 (茨住吉神社7日間)	5名
演歌・舞踊 (3回)	のべ3名
うた楽バンド (歌謡・童謡) (4回)	のべ8名
うた体操 (24回)	のべ48名
大阪市の歴史語り (10回)	のべ12名
民謡 (三味線・尺八) (3回)	のべ5名
民謡 (三味線・太鼓) (2回)	のべ10名
民謡 (三味線) (2回)	のべ36名
民謡 (三味線) (2回)	のべ4名
歌謡曲 (6回)	のべ6名
手品 (一般) (1回)	7名
ハンドマッサージ (1回)	10名
ボランティア体験 (学生)	2名
ボランティア体験 (家裁)	1名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	1名	23名	社会福祉士
関西福祉科学大学	1名	23名	社会福祉士
大阪人間科学大学	1名	24名	社会福祉士
大阪市立大学	2名	2名	社会福祉士
宝塚大学	45名	87名	正看護師
関西社会福祉専門学校	12名	195名	介護福祉士
昇陽高等学校	2名	44名	介護福祉士
7機関	64名	398名	—

・職場体験学習

平成26年11月12日～13日 大阪市立花乃井中学校 2年生 5名

平成27年 2月 5日～ 6日 大阪市立西中学校 2年生 5名

(3) 寄付金状況(平成26年度分：日付順)

①コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成26年 8月15日	柄須賀 武様	入所者 家族	100,000	法人運営費に充当
平成26年 8月20日	匿名様	—	30,000	法人運営費に充当
平成26年 8月23日	村田 節子様	評議員	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年 8月23日	西区健康づくり推進 協議会コスモス会様	地域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年 8月23日	江戸堀連合振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年 8月23日	エルベロワイヤル16 振興町会様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年 8月23日	竹田 房子様	地域	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年 8月23日	金澤 達矢様	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年 8月23日	坂本様(江戸堀連合) 中島様(広教連合)	地域	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成26年12月12日	西区民生委員児童委員 協議会様	地域	30,000	法人運営費に充当
平成27年 2月 6日	住友生命保険 相互会社様	法人	58,000	法人運営費に充当
平成27年 2月11日	三宅 浪子様	入所者 家族	50,000	法人運営費に充当

②コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成26年 4月23日	鞆楠クラブ様	地域	5,000	創立記念祭 ケアハウス運営費に充当
平成26年 9月24日	鞆楠クラブ様	地域	5,000	敬老祝賀会 ケアハウス運営費に充当

(4) 寄付物品(平成26年度分:日付順)

①コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成26年 9月 8日	広教連合振興町会様	地域	バスタオル 40枚	特養で使用
平成26年 9月11日	日本たばこ産業 株式会社様	法人	たばこ 5カートン	入所者に配布

②コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成26年 4月 23日	(株)ガイア様	法人	野球観戦チケット 20枚	入所者に配布
平成26年 9月11日	日本たばこ産業 株式会社様	法人	たばこ 1カートン	入所者に配布